

11月8日はいい歯の日

脱むし歯予防後進県宣言！
鹿児島県の子どもたちのお口に危険信号が灯っています。

- 1歳6か月児…全国ワースト1位(100人中4.3人)
- 3歳児…全国ワースト9位(100人中29.4人)

(平成22年度 1歳6か月児及び3歳児歯科健診結果)



ご当地よ坊さん(鹿児島県版)



(社)鹿児島県歯科医師会
会長 森原 久樹

◎妊婦さんへ

赤ちゃんの歯は妊娠6週目ごろからお母さんのお腹の中ででき始めています。赤ちゃんに丈夫な歯をプレゼントするために栄養のバランスに気をつけましょう。また、歯周病があると早産や低体重児出産の原因になります。妊娠したら必ず歯科を受診しましょう。

◎お父さん、お母さんへ

むし歯の原因は、お口の中にむし歯菌が早くに住み着くことにあります。甘い物を食べ始める時期が早かったり、回数が多かったりするとむし歯菌が早く住み着きます。1歳までの赤ちゃんにはお菓子や甘い飲物を与えないようにしましょう。また、親にむし歯があると、子どもにむし歯菌がうつりやすくなります。子どものむし歯予防のためにもきちんと治療しましょう。

◎おじいちゃん、おばあちゃんへ

お孫さんに甘いお菓子等を与えてむし歯の原因を作らないようにしましょう。かわいいお孫さんをむし歯から守るために、おじいちゃん、おばあちゃんのご協力もお願いします。

歯科医療は「生きる力を支える」生活の医療です。

日本歯科医師会 <http://www.jda.or.jp/>

鹿児島県歯科医師会 <http://www.8020kda.jp/>

詳細は鹿児島県歯科医師会HPへ

